

生物学・生理学トピックス10（新型コロナウイルス関連）

インフルエンザワクチンが新型コロナウイルスによる重度の発症を防ぐ！？ 🤔 (2022/05/19)

Natureの [「Flu vaccine could cut COVID risk」](#) という記事を読みました。ありがとうございます。😊 この記事では、インフルエンザワクチンは最も重篤な形態の新型コロナウイルスを防ぐ可能性があるという研究を紹介しています。以下はこの記事の引用です：

カターの3万人以上の医療従事者を対象とした研究では、インフルエンザワクチンを受けた人は、最近インフルエンザの予防接種を受けていない人と比較して、今後数ヶ月で新型コロナウイルスによる重度の発症する可能性が90%近く低いことがわかった。

COVID-19ワクチンの展開前に2020年後半に実施されたこの研究は、インフルエンザワクチンやその他のワクチンを使用して免疫システムを強化することで、体が新型コロナウイルスをかわすのに役立つ可能性があることを示唆する以前の研究と一致している。

パンデミックの初期の数ヶ月で、COVID-19ワクチンがまだ開発されている間、研究者たちは既存のワクチンが新型コロナウイルスに対する保護を提供する可能性に強く興味を

持っていた。しかし、**COVID-19**以外の病気の予防接種を求める人々は、**新型コロナウイルス**に感染するリスクを減らす他の選択をする可能性があるため、そのような効果の強力な証拠を集めることは困難です。

この「健康的なユーザー効果」の影響を最小限に抑えるために、ドーハのワイルコーネル医学カタルの感染症疫学者であるレイス・ジャマル・アブ・ラダッド率いるチームは、国内の30,774人の医療従事者の健康記録を分析しました。そのような労働者の健康関連の行動には、一般人口よりもおそらく少ないバリエーションがあり、バイアスは減少しているが、おそらく排除されない、とアブ・ラダッドは言う。

研究者たちは、**新型コロナウイルス**の陽性反応を示した518人の労働者を追跡し、ウイルスの陰性反応を示した2,000人以上の研究参加者と照合した。そのシーズンにインフルエンザワクチンを接種した人は、**新型コロナウイルス**の陽性反応を示す可能性が**30%**低く、**重度のCOVID-19**を発症する可能性は**89%**低かった(両方のグループで重症例数は少なかったが)。この研究は5月10日にmedRxivプレプリントサーバーに投稿された。

スイスのバーゼル大学の疫学者ギュンター・フィンクは、カタルの分析は、同じリンクを発見した他の研究がまぐれである可能性を減らすと述べています。彼のチームは、インフルエンザワクチンは**ブラジル**で**COVID-19**で入院した人々の死亡リスクの軽減に関連していると報告した。

「これは重要な証拠です」と、オランダのナイメーヘンにあるラドバウド大学医療センターの感染症の専門家であるミハイ・ネテアは言います。インフルエンザワクチンは**新型コロナウイルス**感染だけでなく、病気の重症度の低下にも関連しているという観察は、保護が本物であることを強

く示唆している、と彼は付け加えた。

この保護がいつまで続くかは不明です。インフルエンザワクチンを患い、後にCOVID-19に感染したカタールの研究の中で、アブ・ラダッドのチームは、平均してワクチン接種から約6週間後に発生した新型コロナウイルス感染を記録した。「この効果が長く続くとは思っていない」と彼は言う。ネテアは、その利益は6ヶ月から2年続くと推測している。

もしかしたら、2020年始めからの日本における、この新型コロナウイルス感染重症化を防げていたのはこの理由かもしれません。🤔新型コロナウイルスが流行する前に、多くの会社員の方はインフルエンザワクチンを打っていたと思います。その方々は重症度を免れていたともいえるかも知れません。🤔

Keywords: インフルエンザワクチン

いつも通りの新型コロナウイルスの対策を🤔 (2022/05/17)

昨日[ツイート](#)でも少し書きましたが、直近の日本の新型コロナウイルスの対策状況の変化に少しみなさんも考えていただいた方が良くと思いました。🤔

異邦人の[ツイート](#)の参考に、私も少し調べていました。🤔

毎日新聞の記事に、「岸田首相、6月にもコロナ対策見直しへ『日常をさらに取り戻したい』」という記事がありました。ありがとうございます。以下はこの[記事](#)の引用です：

岸田文雄首相は5日（日本時間同）、一連の外国訪問の最後にロンドンで記者会見し、新型コロナウイルス対策について6月にも段階的に見直す方針を表明した。水際対策のほか国内活動の緩和も視野に入れる模様で、「日常をさらに取り戻していきたい」と語った。

厚生労働省のウェブサイトの国内の発生状況などという[ページ](#)を確認していました。😊今年に入ってから新型コロナウイルスによる死亡者数は10,000人以上です。その前の2年間では約20,000人です。オミクロン株になってから、死亡者数の増加が止まりません。😞オミクロン株以前は流行期に合わせて死亡者数が増えているだけでしたが、現在一定の増加傾向にあります。😞

死亡者数（累積）

情報更新日：2022年05月15日

死亡者数（累積）

30,053 人

前日比

↑ 22 人

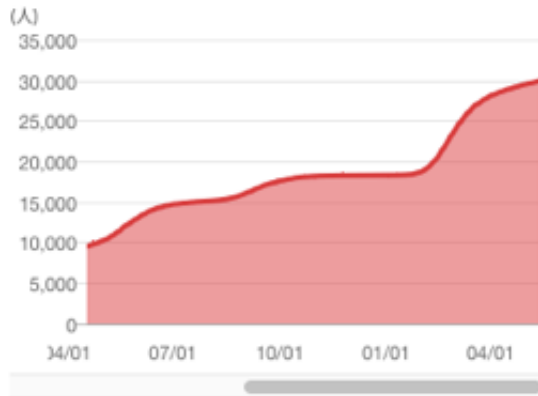
グラフ表示期間

1週間

1か月

3か月

1年



▶ 注釈・コメント

重症者数の推移

情報更新日：2022年05月15日

重症者数

134 人

前日比

↓ 5 人

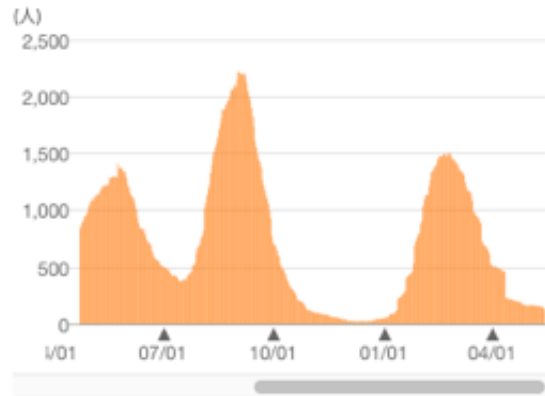
グラフ表示期間

1週間

1か月

3か月

1年



▶ 注釈・コメント

ただ、入院治療等を要する者数や重症者数は今は低い数値を示しております。このことから、医療を受けられていない方々が最近亡くなられている可能性もあるということです。😞少しでも不安がある場合は検査を受けていただきたく思います。よろしくお願いたします。🙏

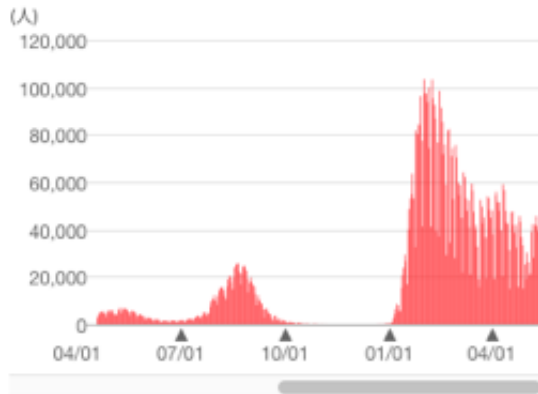
新規陽性者数の推移（日別）

情報更新日：2022年05月15日

新規陽性者数	1週間平均	前週平均
34,895 人	38,821 人	28,576 人
前日比 ↓ 4,444 人		

グラフ表示期間

1週間 1か月 3か月 1年



▶ 注釈・コメント

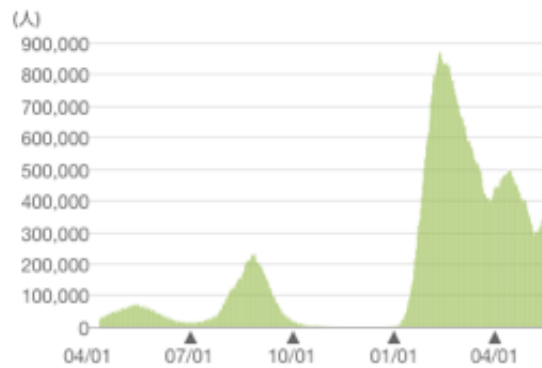
入院治療等を要する者等推移

情報更新日：2022年05月15日

入院治療等を要する者	344,529 人	↑ 5,804 人
退院又は療養解除者数	7,962,784 人	↑ 27,961 人
確認中	28,741 人	↑ 1,745 人

グラフ表示期間

1週間 1か月 3か月 1年



今はみなさん流行が落ち着いていると思っているかもしれませんが、日本の人口のある一定数は常に無症状で罹っている状態といえます。また、コロナの後遺症等や他に不明な小児肝炎のケースも多く報告されています。これから日本は夏になりますので、出来る限りで良いですので、今まで通りの自身の対策をしていった方が良いかと思われま
す。🙏

依然コロナに再度罹るリスクがある今現在の状況では、出来るだけその回数を減らすようにしていかなければいけないと思います。これから、次の流行期が来ないことを祈りますが、恐らく来ると思います。😓

Keywords: オミクロン株, 新型コロナウイルスの対策

新型コロナウイルスに感染した免疫細胞がその 重度の症状の原因かもしれない🤔 (2022/04/23)

Natureの [「What triggers severe COVID? Infected immune cells hold clues」](#) という記事を読みました。ありがとうございます。😊 この記事では、新型コロナウイルスに感染した免疫細胞が重度の症状に寄与する大規模な炎症反応を引き起こす可能性があるとの研究を紹介するものです。以下はこの記事の引用です：

最新の研究は、肺のマクロファージと血液中の単球の2種類の白血球を含み、一度ウイルスに感染した後、炎症を引き起こします。この研究はまた、ウイルスが免疫細胞に感染して複製できるという決定的な証拠を提供し、それがそれらの細胞にどのように侵入するかを明らかにする。そのような感染症の証拠は今まで混ざり合っていた。

研究者たちはまた、COVID-19で死亡した人々の肺内の別のタイプの免疫細胞、マクロファージを調べた。マクロファージはウイルスの一部を含む細胞ごみを収集するため、マクロファージがSARS-CoV-2に感染したのか、それとも単にこの一部を浸したのかを示すことは困難でした。チームは、マクロファージの約4分の1が炎症を起こし、そのうちのほんの一部が実際にウイルスに感染していることを発見した。他の感染した肺細胞である上皮は、同じ反応を示さなかった。

結果は、ニューヘイブンのイエール大学医学部の免疫学者であるEsen Sefikと彼女の同僚によって、bioRxiv2に投稿され、まだ査読されていない2番目の研究の結果と一致しています。彼らはまた、ウイルスが人間の肺細胞や人間の免疫系のマウスモデルのマクロファージに感染し、複製する可能性があることを発見した。マクロファージはリーバーマンが説明したのと同じ炎症反応を示し、最終的に死亡した。

しかし、アイオワ大学のウイルス学者でもあるスタンリー・パールマンは、感染した免疫細胞が他の可能性のあるメカニズムと比較して重度のCOVID-19を誘発する上でどれほど重要であるかを理解するために、フォローアップ研究が必要であると述べています。

免疫細胞が新型コロナウイルスに感染した場合、体内の免疫が機能しづらいことが確かなような気がします。早くこれらを解明できることを願っています。 😞

Keywords: 免疫細胞, 炎症反応, マクロファージ, 白血球